

# 八峰町 不妊・不育症治療費助成のお知らせ

八峰町では妊娠・出産を支援するとともに、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図るため、今年度から一般不妊治療費・不育症治療費の一部を助成しています。

下記に治療費助成の一覧を示しました。詳細については福祉保健課健康推進係までお気軽にご連絡ください。  
 ※特定不妊治療については、秋田県の助成額を超えた額について町で助成し、一般不妊治療と不育症治療については町独自の助成です。  
 ※不育症…赤ちゃんを授かるものの流産を2回以上繰り返すこと

## 【不妊・不育症治療費の助成】

	一般不妊治療費助成制度	特定不妊治療費助成制度	不育症治療費助成制度
対象となる検査・治療	超音波検査、ホルモン検査、子宮卵管造影検査、精液検査、タイミング療法、薬物療法、人工授精、手術療法 等	指定医療機関でうけた体外受精、顕微授精 ※保険適用外のもの	不育症検査、薬物療法 等
助成対象	町内に住所を有する法律上の夫婦で、かつ、夫婦の前年の所得の合計額が730万円未満の方		
夫婦への助成額	1年度当たり10万円以内	1回当たり治療内容により県から10万円又は20万円以内【★】、町から県助成金を控除した額について15万円以内	1年度当たり10万円以内
助成期間	開始した年度から3年度	1年度3回まで。通算5年度15回まで。男性不妊治療も助成対象。平成27年度以降、新たに助成を受ける方で妻の年齢が40歳未満の方は通算9回まで。年間助成回数・助成期間の制限無し	開始した年度から3年度
申請期間	治療を受けた日の属する年度内(3月末日まで) ※限度額になった時点や治療が終了した時点での申請可	治療を終了した日の属する年度内(3月末日まで)	治療を受けた日の属する年度内(3月末日まで) ※限度額になった時点や治療が終了した時点での申請可
申請に必要な書類	・不妊治療助成金交付申請書 ・不妊治療受診証明書 ・領収書 ・所得証明書 ・住民票 ・納税証明書 申請書様式・治療受診証明書様式等はホームページからダウンロードできます。 ～秋田県特定不妊治療費助成事業について～ <a href="http://www.pref.akita.lg.jp/">http://www.pref.akita.lg.jp/</a> 『幸せをはこぶコウノトリ事業』で検索 ～八峰町不妊治療費助成について～ <a href="http://www.happou.akita.jp/">http://www.happou.akita.jp/</a> 『各課のページ』⇒『福祉保健課』⇒『不妊治療費助成事業』		
実施主体 申請受付 問合せ	八峰町福祉保健課 TEL.76-4608	山本地域振興局福祉環境部 TEL.52-4333 八峰町福祉保健課 TEL.76-4608	八峰町福祉保健課 TEL.76-4608

★特定不妊治療助成の対象となる治療  
 ・新鮮胚移植を実施 20万円以内  
 ・凍結胚移植を実施 20万円以内  
 ・以前に凍結した胚を解冻して胚移植を実施 10万円以内  
 ・体調不良等により移植のめどが立たず治療終了 20万円以内  
 ・授精できず または、胚の分割停止、変性、多精子受精などの異常授精等により中止 20万円以内  
 ・採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止 10万円以内  
 ※特定不妊治療の一環として男性に対して行われる、精巣内精子生検採取法 (TESE) または精巣上体内精子吸引採取法 (MESA) の費用も助成の対象となります。

秋田県では、「不妊とこころの相談センター」を開設しています。専門の医師や助産師、臨床心理士が個室でゆっくりご相談に応じますので、どんなことでも安心してご相談ください。電話による相談もできますので、ご利用ください。

## 【不妊とこころの相談センター】

相談種別	相談内容	相談日・時間	電話番号
面接相談 (予約制)	不妊・不育に関する検査、治療、費用等についての相談	木曜日(第5を除く): 午後1時～3時 金曜日: 午後2時～4時	面接相談予約専用電話 (018) 884-6666 月～金曜日 午前9時～午後5時
	不妊・不育にともなう心理的な相談	第1・3水曜日: 午後2時～4時	
電話相談 (予約不要)	不妊・不育に関する相談(全般)	水・金曜日: 正午～午後2時	電話相談専用電話(018)884-6234 ※相談時間以外に対応できません

相談は無料。面接相談は1時間程度で、各曜日とも2組まで。

■問合せ先 八峰町福祉保健課 健康推進係 ☎76-4608

## 健康はっぼう21ひろば

7月は「熱中症予防強化月間」です！

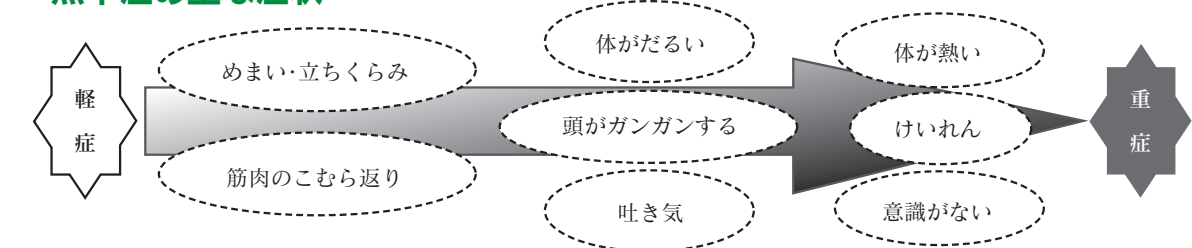
# 知って防ごう熱中症

今年も暑い季節がやってきました。運動中や屋外での活動はもとより、自宅などの屋内でも熱中症になることがあります。自分には関係のないことだと思わず、日常生活の中でも十分に注意しましょう。



体温を調節する機能がうまく働かなくなるために起こる体の不調です。体の中の水分や塩分のバランスが崩れると様々な症状が起こります。

## ～熱中症の主な症状～



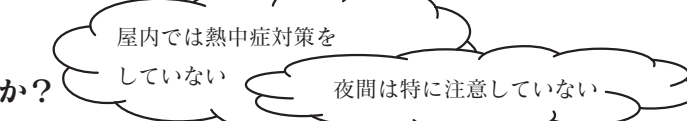
## ～思い当たることはありませんか？～

☑こまめに水分を取っていますか？



喉が渇く前の先取り水分補給が大切です。飲んだ水分が体内に吸収されるまでには時間がかかります。そのため、喉の渇きを感じなくてもこまめに水分を取る必要があります。また、体に必要な水分の補給を我慢することは特に危険です。

☑部屋の中なら大丈夫と思っていませんか？



熱中症は、直接太陽の当たらない屋内や夜間でも多く発生しています。目に見える位置に温度計を置いて部屋の温度をこまめに確認し、室温を28℃前後に保つように心掛けましょう。

## ～熱中症かなと思ったら～

- 一、日差しを避け、風通しのよい場所に移動しましょう。
- 二、体が熱い時は、冷たいタオルなどで太い血管が通っている部位(首筋・脇の下・太ももの付け根)を冷やしましょう。
- 三、スポーツドリンクなど冷たい飲み物を飲みましょう。